



平成28年3月期 第70期
第2四半期

決算説明

平成27年10月30日発表

ペガサスミシン製造株式会社





*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成28年3月期
(第70期)
第2四半期業績**

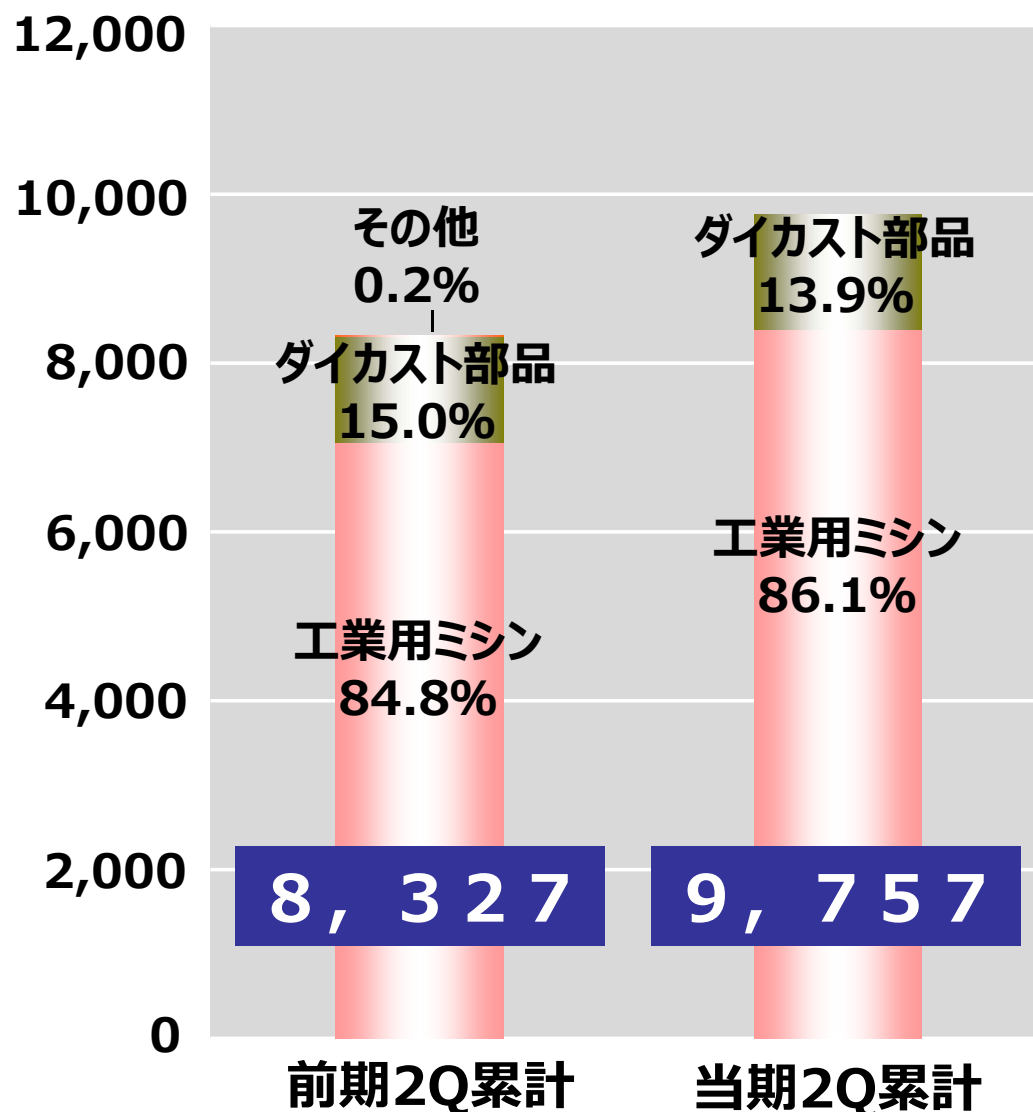
事業環境

- 1 為替の円安効果
- 2 工業用ミシン事業のチャイナプラスアザーズの継続
エマージングマーケット（中東、アフリカ等）にも波及
- 3 工業用ミシン事業の中国内需販売は効率化を中心
としたハイエンド機種への投資が進行
- 4 ダイカスト部品事業は中国で受注の伸び悩みがある
ものの、ベトナムは堅調に推移

連結売上高 (百万円)

● 前年同期比 17.2% (1,430百万円)

(※百万円以下切り捨て)



	当期実績	前期比	増減率
工業用マシン	8,403	1,343	19.0%
ダイカスト部品	1,354	101	8.1%
その他	0	▲15	▲100.0%
連結合計	9,757	1,430	17.2%

<工業用マシン>
● 販売台数 前期比 ▲7.9%
● 販売単価 前期比 25.4%
為替要因除外 前期比 8.8%

(百万円)

連結営業利益

連結経常利益

税金等調整前
当期純利益親会社株主に
帰属する
当期純利益
 期初
 計画比
 2,000

97 (+10.4%)

174 (+18.3%)

194 (+20.5%)

244 (+40.0%)

2,000

1,500

1,000

500

0

 売上高 1,430 増
 原価率 3.5pt 増
 売上総利益 182 増
 販管費 80 増

 営業外収益 153
 営業外費用 55

 特別利益 20
 特別損失 0

 法人税等 312
 法人税等調整額 ▲40
 被支配株主に帰属
 する当期純利益 17

1,027

1,124

1,144

854

97 ↑

20 ↑

▲290 ↓

925

930

1,149

950

1,644

950

1,206

610

前期比

101 (+11.0%)

▲24 (▲2.1%)

▲499 (▲30.4%)

▲352 (▲29.2%)

前期2Q累計

当期2Q累計計画

当期2Q累計

原価悪化要因

- 1) 工業用ミシンの操業度低下
- 2) 部品の海外材料調達比率の減少
- 3) 1台当り製造費用の上昇
- 4) 為替の円安により、未実現利益の増加
- 5) 減価償却費の増加
- 6) 製造子会社の原価率悪化

原価改善要因

- 1) 為替の円安による販売単価のアップ
- 2) ダイカスト部品ベトナム工場の本格稼働による操業度向上

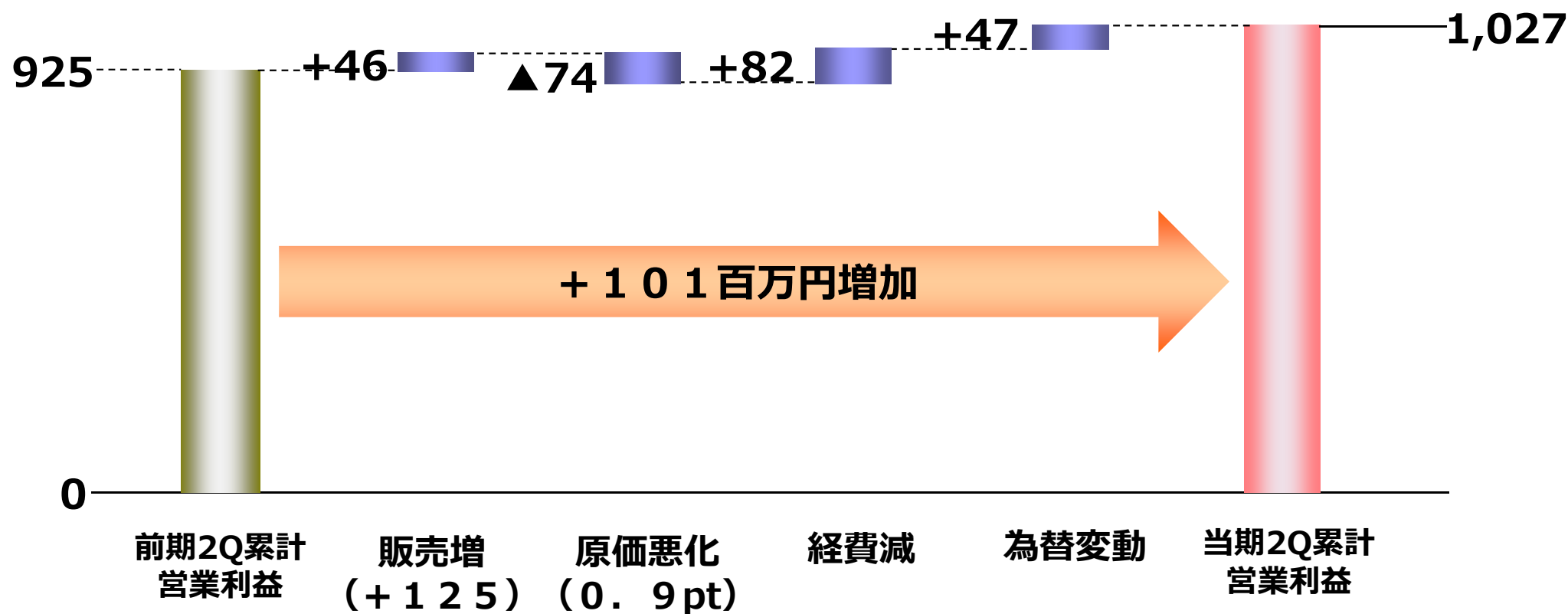
● 為替による影響 (連結業績ベース)

(※百万円以下切り捨て)
(百万円)

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	当期実績	為替要因 除外	前期実績	為替要因除外 前期比
期中為替レート	-	¥120.50	¥135.65	¥19.65	-	-	-	-
前期為替レート	-	¥102.66	¥140.56	¥16.74	-	-	-	-
差額	-	¥17.84	▲¥4.91	¥2.91	-	-	-	-
売上高	310	6,842	509	2,095	9,757	8,453	8,327	125
比率	3.2%	70.1%	5.2%	21.5%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	1,013	▲18	310	1,304	-	-	-
売上原価	1,763	1,808	10	2,919	6,502	5,408	5,255	153
比率	27.1%	27.8%	0.2%	44.9%	100.0%	-	-	-
為替影響額	323	306	▲0	464	1,094	-	-	-
販売管理費	1,019	701	86	420	2,227	2,064	2,147	▲82
比率	45.8%	31.5%	3.9%	18.9%	100.0%	-	-	-
為替影響額	0	103	▲3	62	162	-	-	-
営業利益	▲2,472	4,332	412	▲1,244	1,027	979	925	54
為替影響額	▲323	603	▲14	▲216	47	-	-	-
原価率					66.6%	64.0%	63.1%	

営業利益増減要因 (百万円)

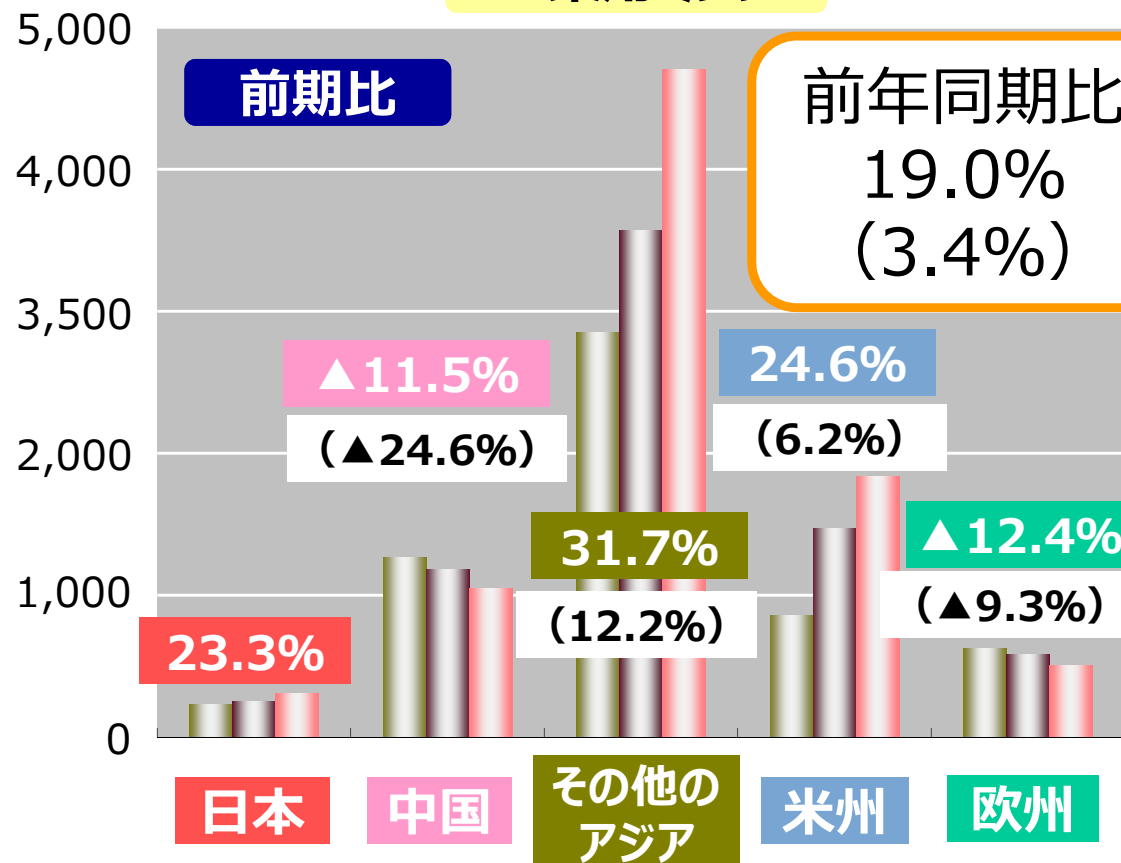
(※百万円以下切り捨て)



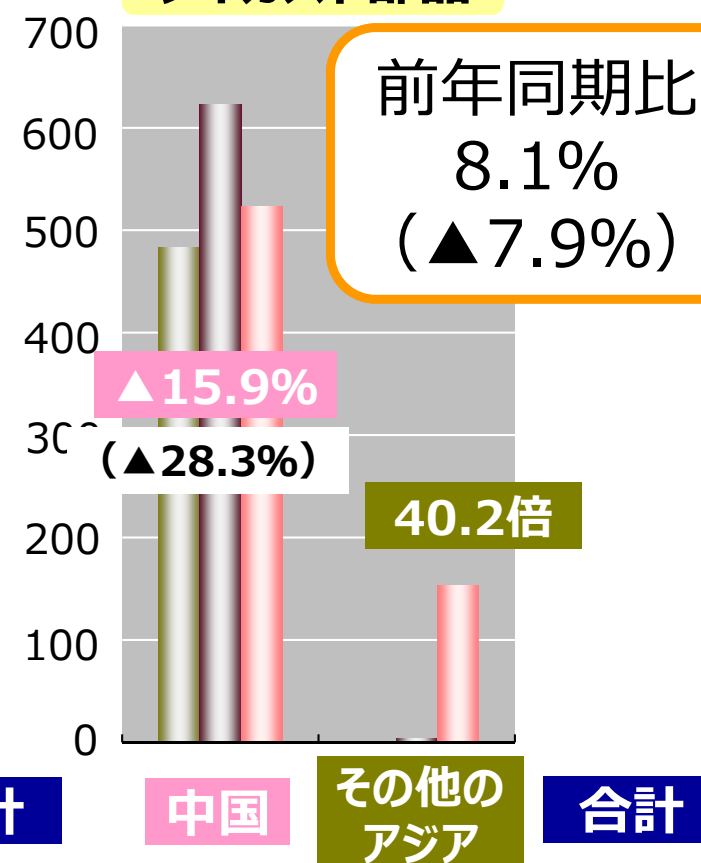
所在地別セグメント売上高(百万円)

※百万円以下切り捨て。()内は為替要因除外の場合の前期比

工業用ミシン



ダイカスト部品



	日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	合計
68期中間	232	1,268	2,853	856	623	5,835
69期中間	252	1,184	3,569	1,471	581	7,059
70期中間	310	1,047	4,701	1,834	509	8,403

	中国	その他のアジア	合計
68期中間	966	0	966
69期中間	1,245	7	1,252
70期中間	1,047	307	1,354

連結貸借対照表

(※百万円以下切り捨て)

資 産

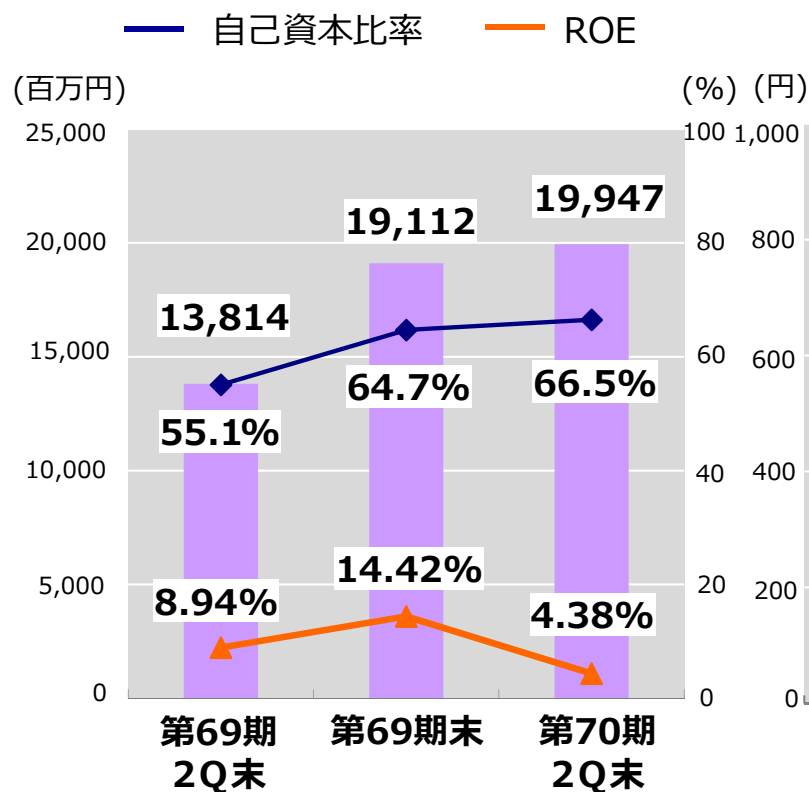
負債・資本・純資産

(百万円)	当期末	前期末比
資産合計	29,980	456
流動資産	21,822	287
現金及び預金	7,438	▲137
受取手形及び売掛金	5,491	626
棚卸資産	8,132	▲118
繰延税金資産ほか	759	38
固定資産	8,158	168
有形固定資産	6,488	56
建物	2,869	▲32
機械	1,947	42
工具、備品	119	▲13
建設仮勘定	624	58
投資その他の資産	926	115
無形固定資産およびその他は1千万円以下の増減		

(百万円)	当期末	前期末比
負債合計	9,320	▲355
流動負債	5,820	220
支払手形及び買掛金	1,891	508
借入金及び社債	2,486	▲350
固定負債	3,499	▲575
借入金及び社債	2,151	▲529
純資産合計	20,660	811
株主資本	16,232	656
資本金	2,255	0
資本剰余金	2,983	0
利益剰余金	10,998	656
自己株式	▲5	0
その他の包括利益累計額	3,715	179
為替換算調整勘定	3,650	212
非支配株主持分	712	▲23

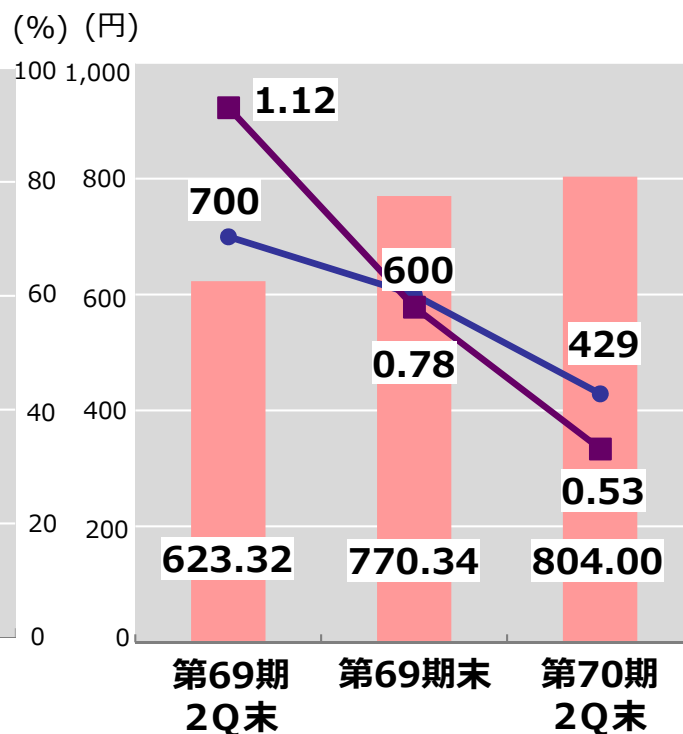
連結財政状況

自己資本/自己資本比率/ROE



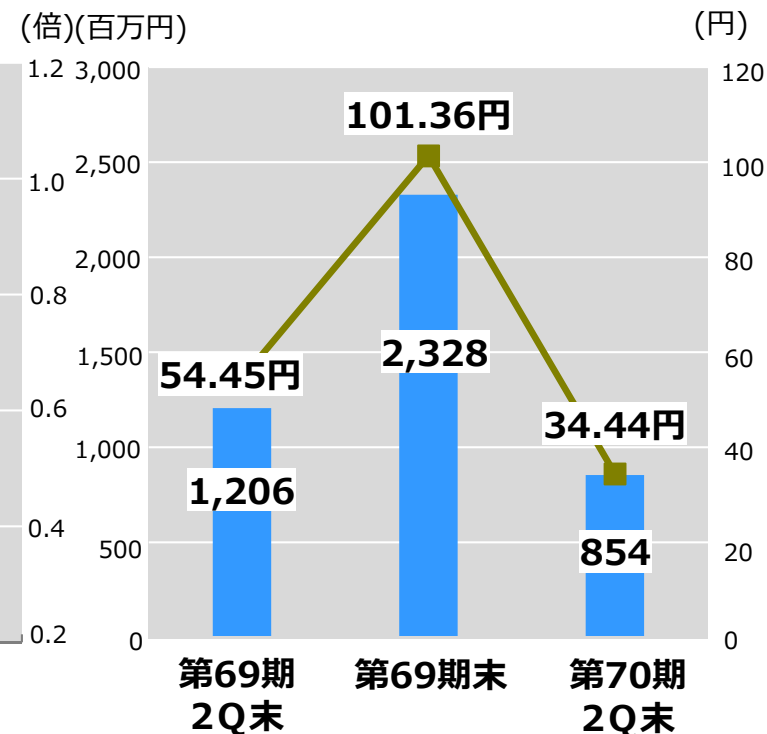
1株当り純資産/PBR

— 期末株価 — PBR



当期純利益/1株利益

— 1株利益

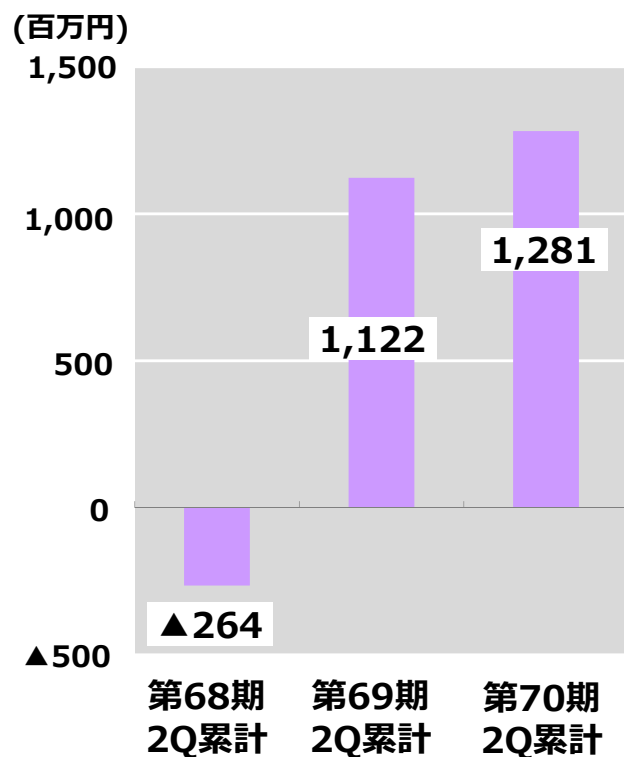


※ROE：
 当期純利益÷期初期末平均自己資本

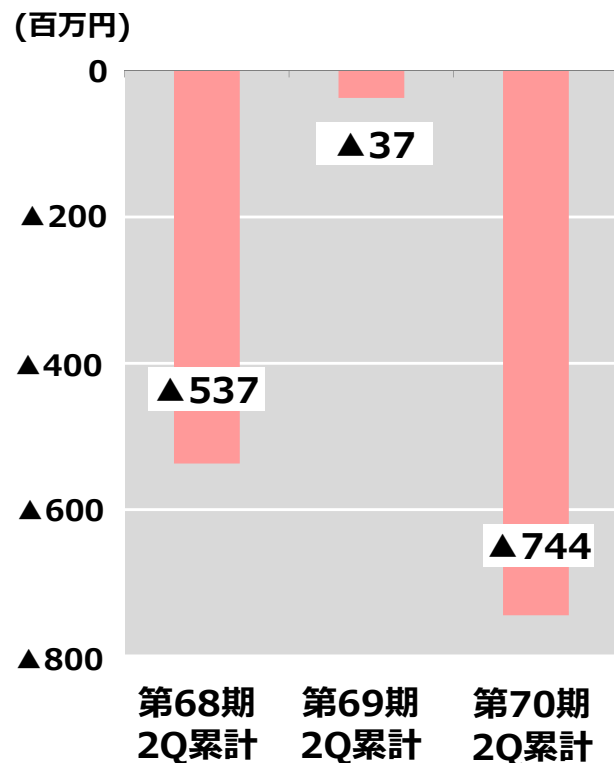
連結キャッシュフロー

(※百万円以下切り捨て)

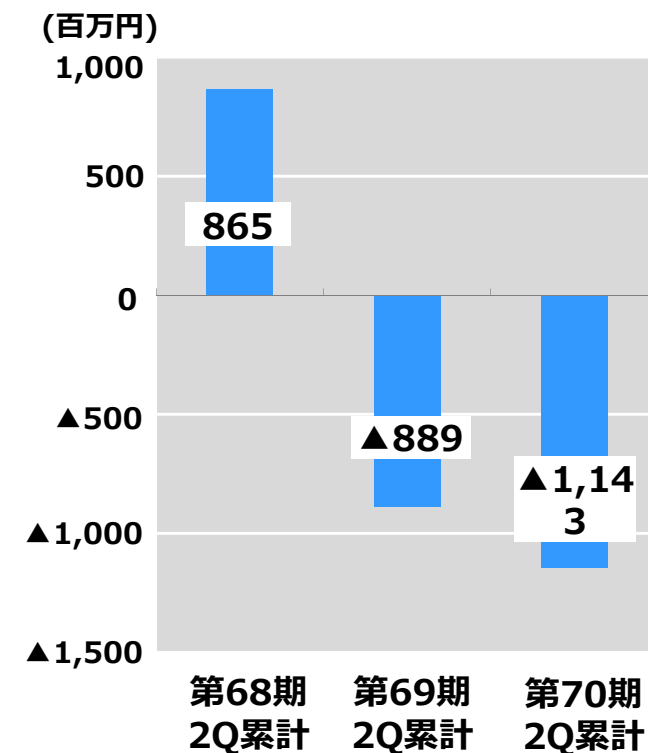
営業活動C F



投資活動C F

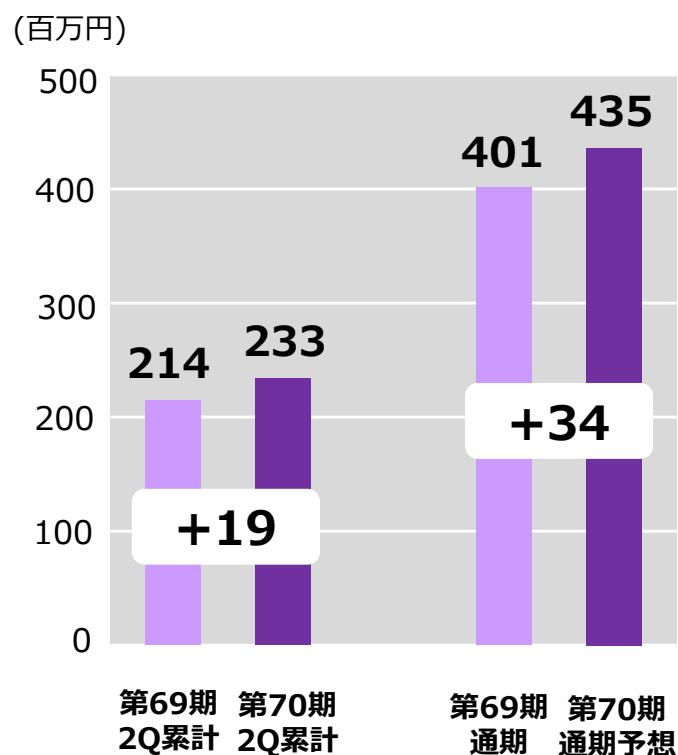


財務活動C F

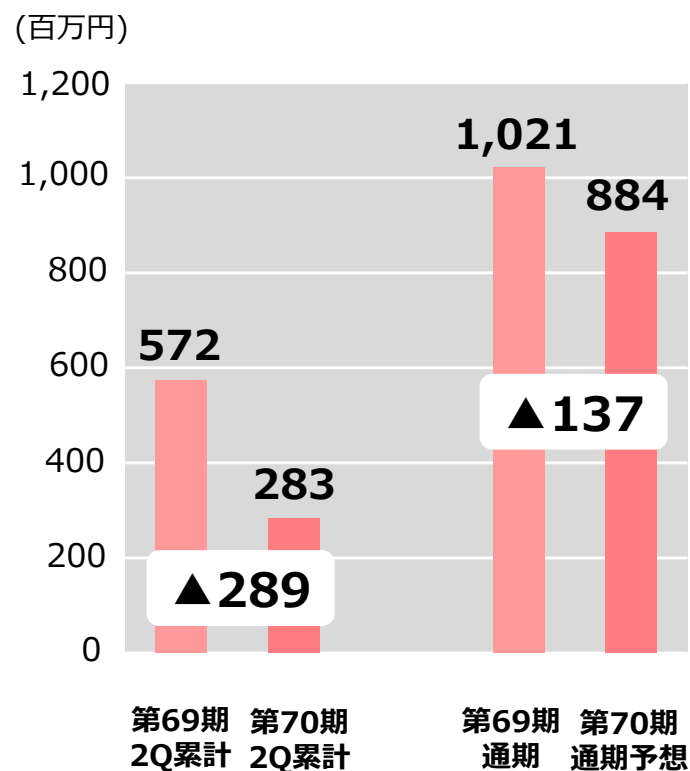


(※百万円以下切り捨て)

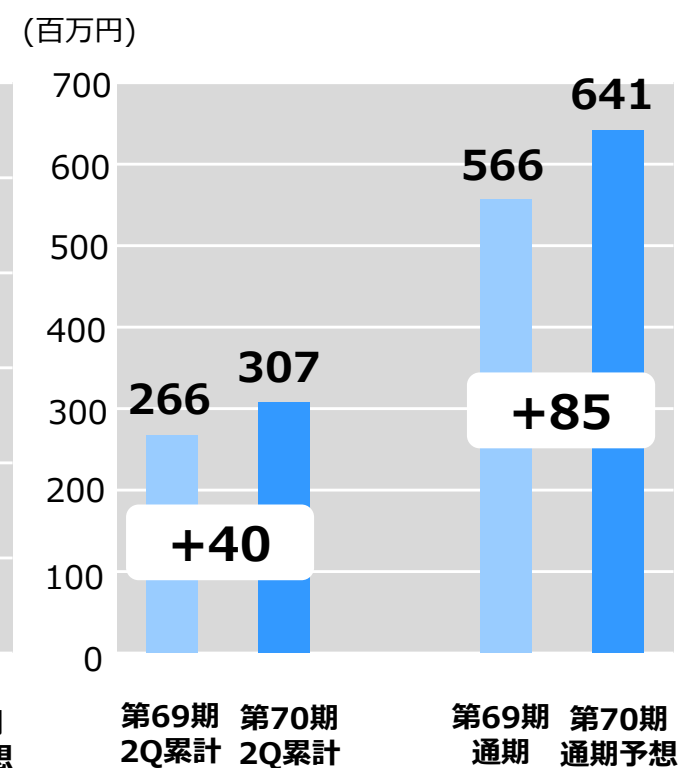
研究開発費



設備投資費



減価償却費





*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成28年3月期
(第70期)
業績予想**

事業環境

- 1 工業用ミシン事業のチャイナプラスアザーズの継続
- 2 工業用ミシン事業のエマージングマーケットの開拓
- 3 ダイカスト部品の新規取引開拓と需要動向
- 4 日米欧の金融政策と中国や新興国の経済動向
- 5 為替の動向

Ⅱ-02 平成28年3月期（第70期）連結業績予想

通期業績予想、進捗（百万円）

連結

	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
売上高	18,360	9,757	53.1%	9,040	7.9%	717
営業利益	2,000	1,027	51.4%	930	10.4%	97
経常利益	2,010	1,124	55.9%	950	18.3%	174
当期純利益	1,420	854	60.1%	610	40.0%	244

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

事業別

売上高予想	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
工業用マシン	14,675	8,403	57.3%	7,540	11.4%	863
ダイカスト部品	3,685	1,354	36.8%	1,500	▲9.7%	▲146

所在地別セグメント 通期業績予想、進捗 (百万円)

工業用ミシン

	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
日本	560	310	55.4%	290	7.1%	20
中国	1,595	1,047	65.6%	893	17.3%	154
その他のアジア	8,410	4,701	55.9%	4,223	11.3%	478
米州	3,110	1,834	59.0%	1,639	11.9%	195
欧州	1,000	509	50.9%	495	2.9%	14

ダイカスト部品

	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
中国	2,985	1,047	35.1%	1,213	▲13.7%	▲165
その他のアジア	700	307	43.9%	286	7.0%	20



*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成28年3月期
(第70期)
重点課題**

1. 売上高拡大

1) 重点課題の推進

- * 3つの差別化（製品・品質・サービス）の徹底
- * 中国市場に代わる普及機種市場の開拓&参入
- * 販売・サービス機能の強化
- * オセロ作戦の強化
- * 中国製ハイエンド機種の拡販
- * 非アパレル・異業種への参入

2) ダイカスト部品事業の拡大

- * 取引先の拡大
- * セールスエンジニアの育成

3) 第3の柱となる事業の検討スタート

2. 原価低減の推進

1) 生産体制の効率化

- *生産拠点の棲み分け（生産品目の適正化）
- *本社（滋賀工場）の効率化対策の推進
- *工業用ミシン製造拠点（美馬精機、中国、ベトナム）の効率化および原価引き下げ対策

2) 部品供給体制の効率化

- *納期短縮
- *調達ルート of 適正化



*Stitching Together
New Tomorrows*

会社概要

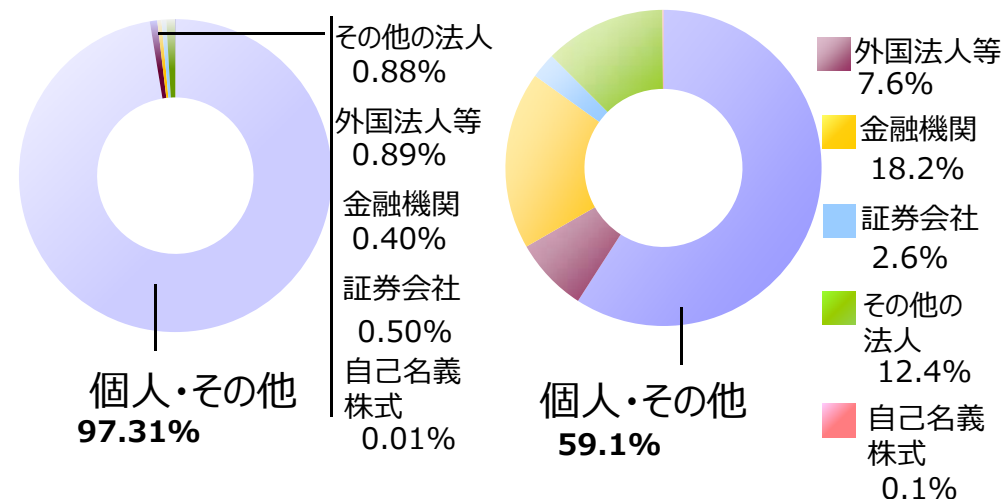
IV-01 会社概要

● 会社概要

会社名	ペガサスマシン製造株式会社
代表者	代表取締役会長 清水盛明 代表取締役社長 美馬成望
創業	1914年（大正3年）1月
所在地	大阪市福島区
資本金	22億5,555万円（平成27年9月末現在）
売上高	162億649万円（平成27年3月末現在）
従業員数	1,288名（連結平成27年9月末現在） 220名（単体平成27年9月末現在）
事業内容	工業用環縫いミシンおよび部品の製造・販売 自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売

● 株主状況 平成27年9月末時点

◆所有者別比率(%) ◆所有者別持株数比率(%)



大株主の状況

平成27年9月末時点

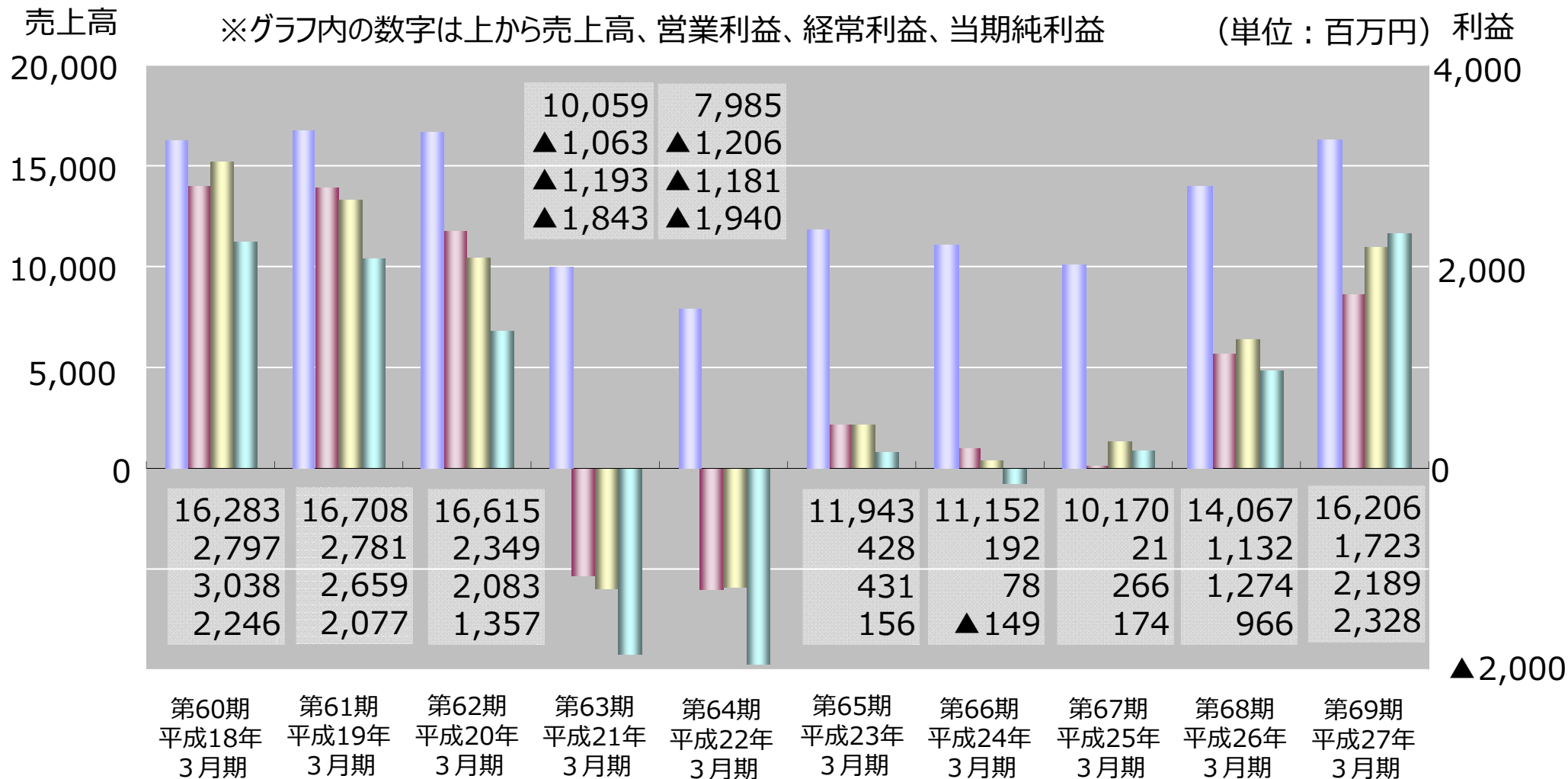
氏名または名称	割合(%)
1 株式会社美馬	6.26
2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4.75
3 株式会社三井住友銀行	3.34
4 板東敬三	3.26
5 吉田隆子	2.86
6 美馬成望	2.47
7 ペガサスマシン従業員持株会	2.04
8 板東雄大	1.89
9 美馬正道	1.76
10 BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1.51
計	30.15

IV-02 会社概要

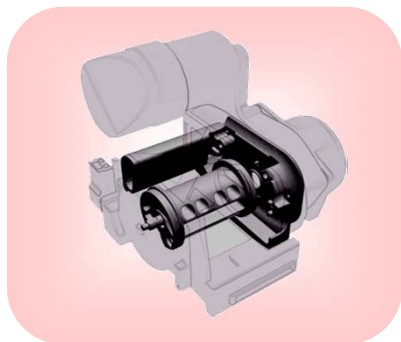


連結業績推移

■ 売上高 (左)
 ■ 営業利益 (右)
 ■ 経常利益 (右)
 ■ 当期純利益 (右)

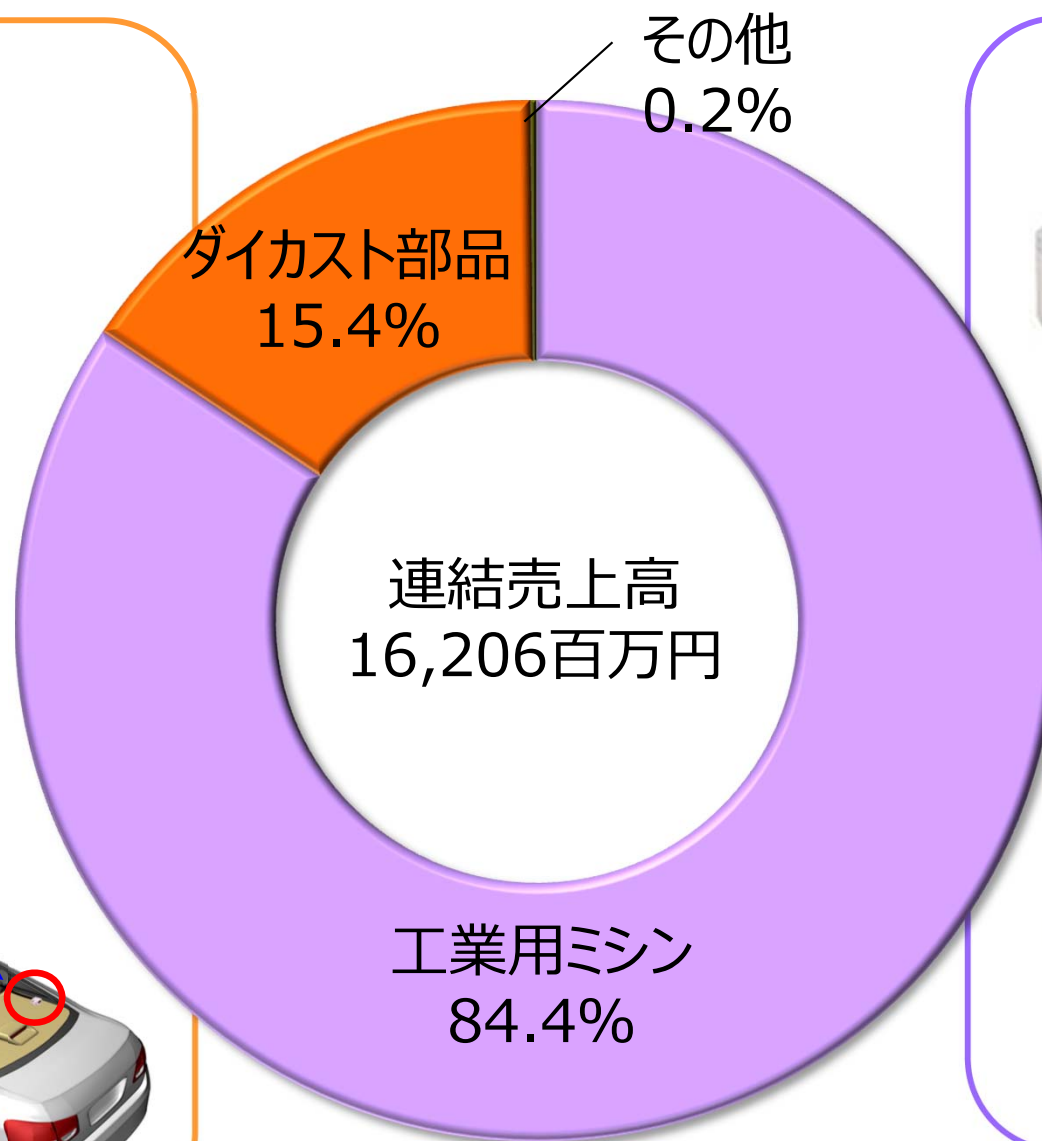
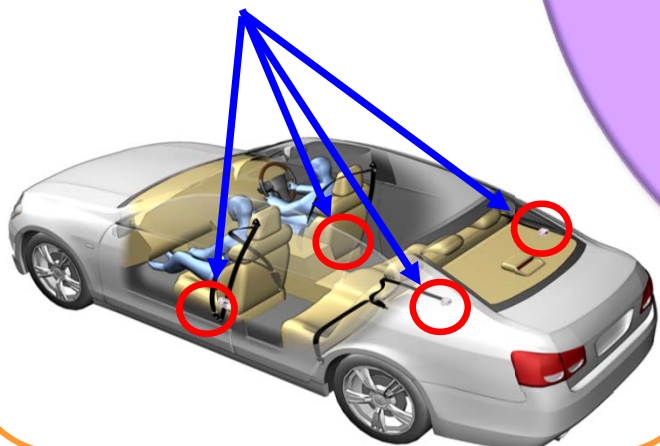


IV-03 事業内容



ダイカスト製品イメージ図

ダイカスト製品
使用部位



新型オーバーロックマシン



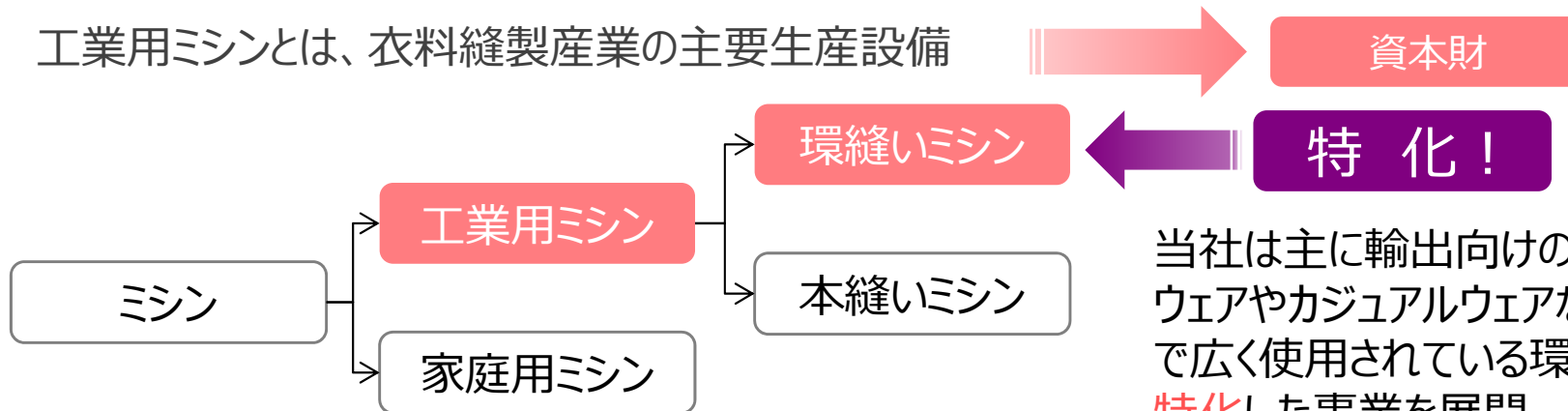
新型偏平縫いマシン

※グラフ内の%は平成27年3月期通期 売上高構成比率

IV-04 事業内容 工業用ミシン

工業用環縫いミシンの製造・販売

工業用ミシンとは、衣料縫製産業の主要生産設備

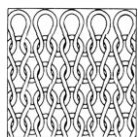


当社は主に輸出向けの高級ニットウェアやカジュアルウェアなどの縫製で広く使用されている環縫いミシンに特化した事業を展開

環縫いミシンと本縫いミシンの違い

環縫いミシン

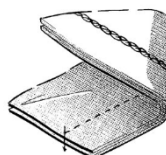
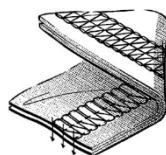
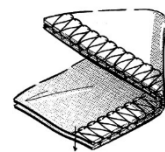
ニット（編まれたもの）の構造



環縫いの縫い目(断面図)

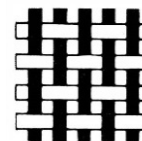


- カジュアルウェア
- スポーツウェア etc

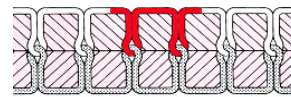


本縫いミシン

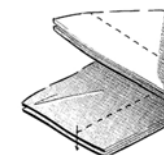
織物（織られたもの）の構造



本縫いの縫い目(断面図)

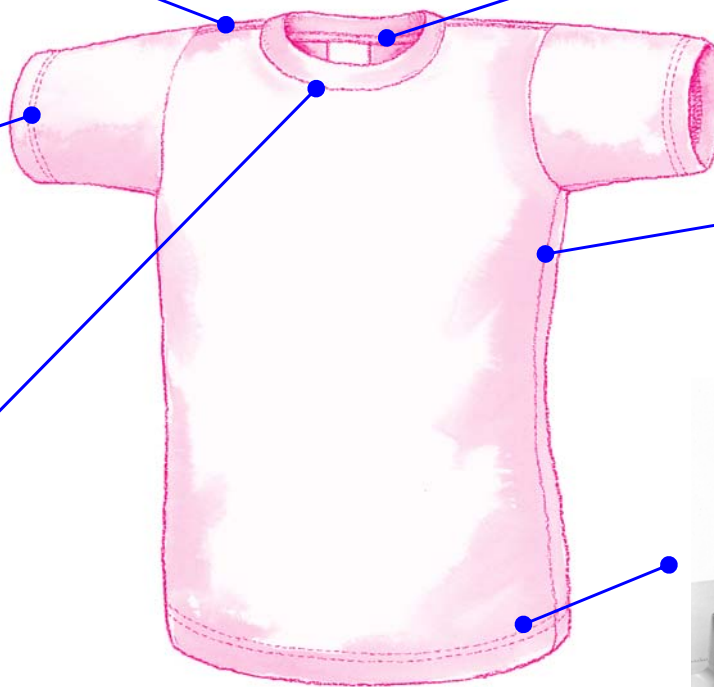
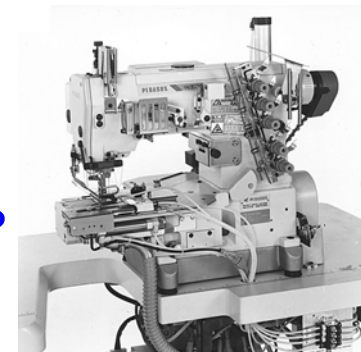
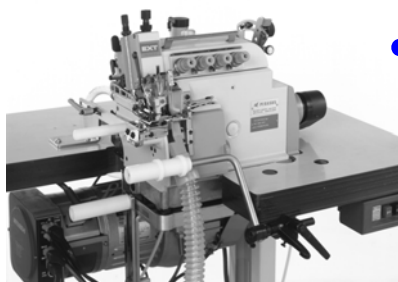
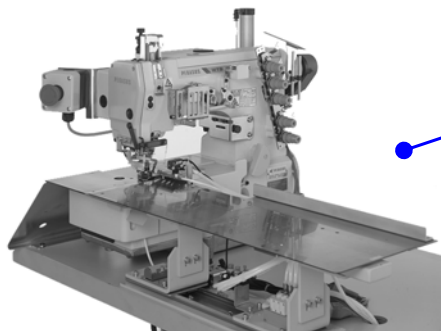
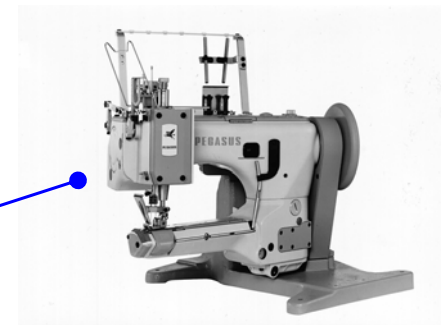


- スーツ
- ジーパン etc

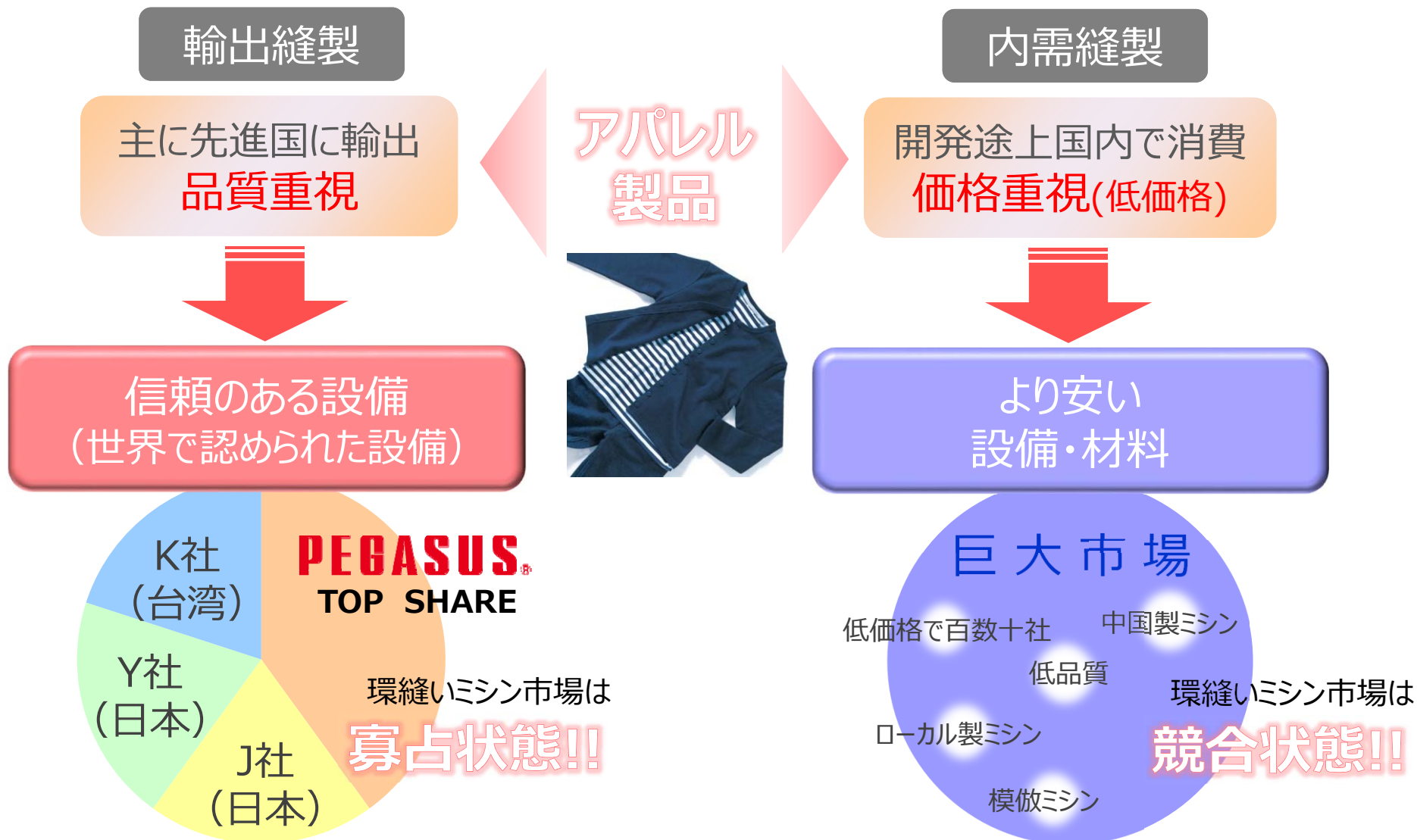


● 様々な用途に対して、豊富な機種を展開。その数 **3,500種類以上!!**

様々な用途に使われる環縫いミシン。
当社では現在、3,500種類以上の
品揃えで、ユーザーニーズに対応!!



● 高性能・高機能の環縫いミシン業界は寡占状態



IV-07 事業内容 工業用ミシン(環縫い市場)

● 環縫い市場は安定的に拡大



世界人口の
増加



日常生活を支える三大要素

「衣」・「食」・「住」

生産財 当社の携わる工業用ミシン PEGASUS®

IV-08 事業内容 工業用ミシン(縫製産地)

縫製産地は絶えず好条件の生産拠点を求めて移動

好条件とは

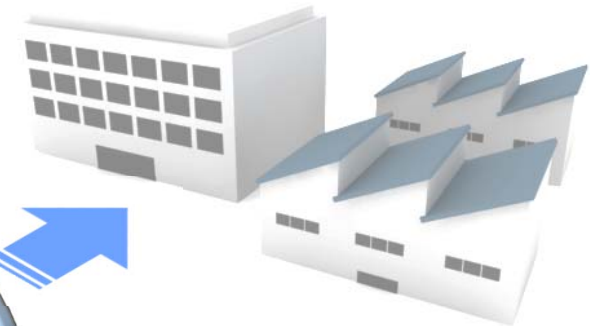
- 品質の良い縫製品が安く作れる
- まとまった数量が確保できる
- 納期が守れる
- 為替が安定している
- 関税が低い・・・等

これらの条件が充足されなくなると・・・



好条件を求めて
新たな縫製基地へ!!

新工場
設立



設備の新規導入



工業用ミシンの
販売チャンス!!

グローバルな生産および販売体制を構築

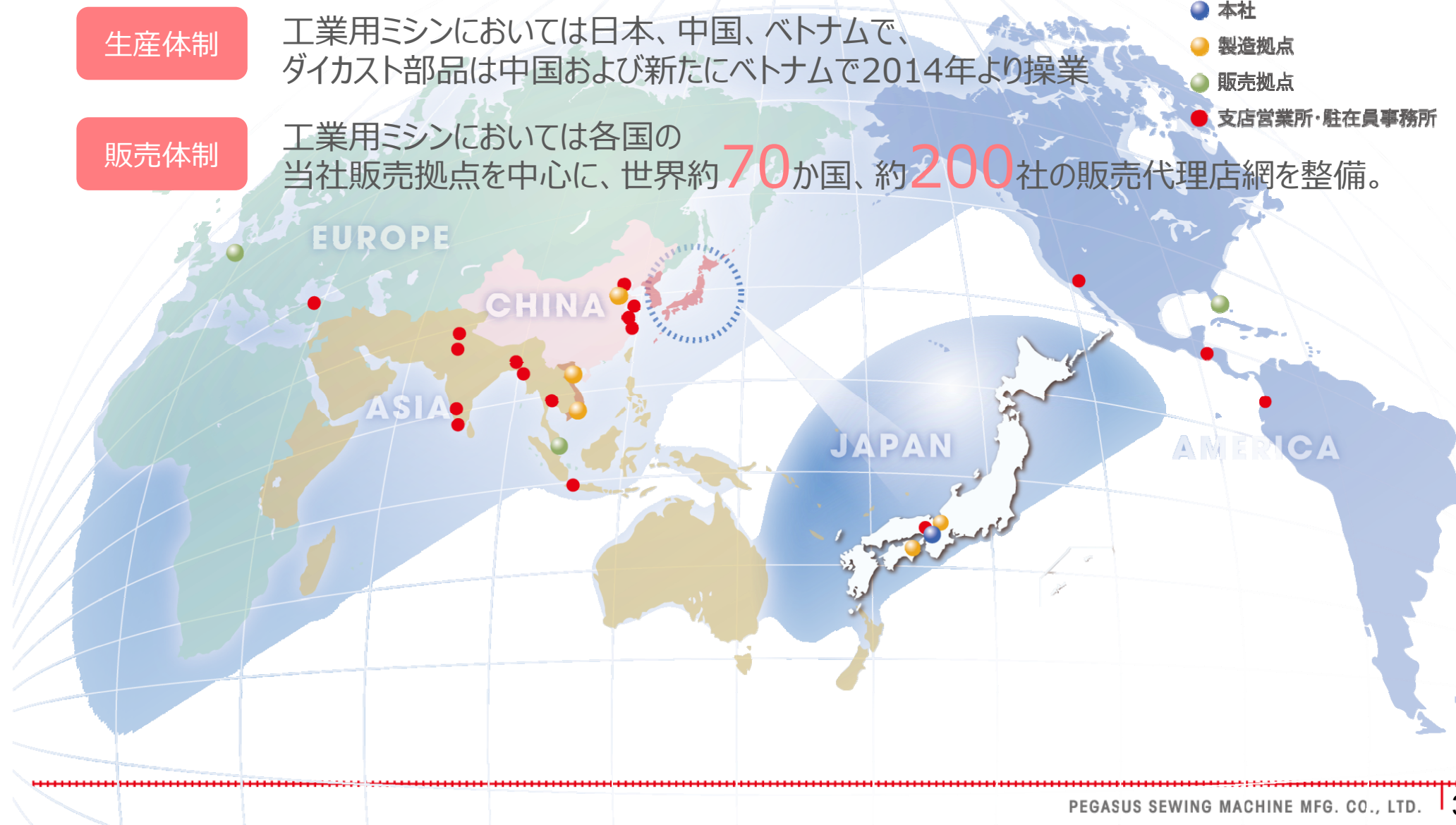
生産体制

工業用マシンにおいては日本、中国、ベトナムで、ダイカスト部品は中国および新たにベトナムで2014年より操業

販売体制

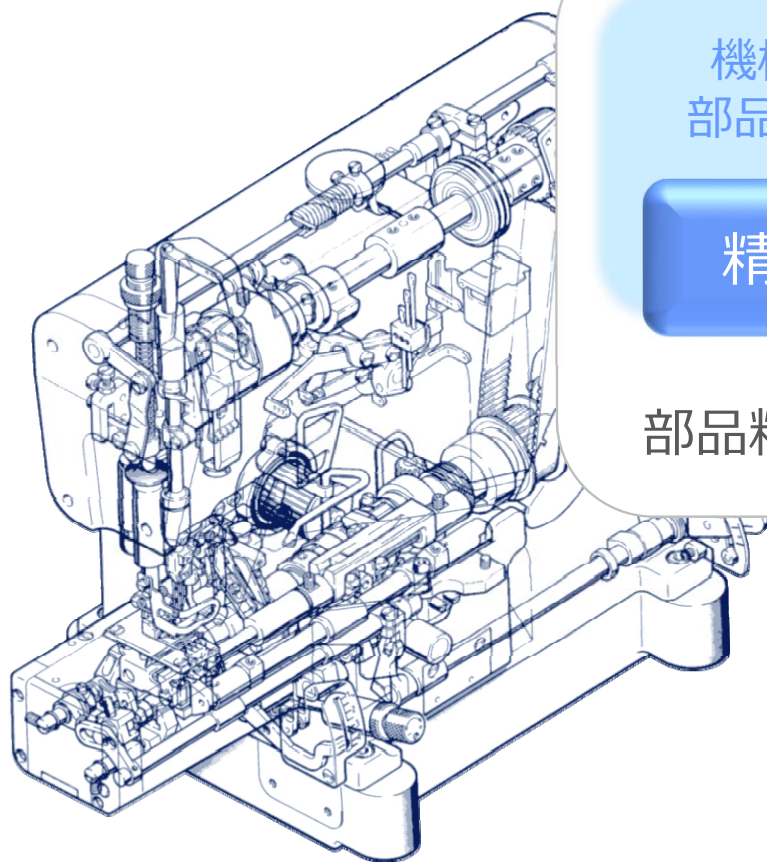
工業用マシンにおいては各国の当社販売拠点を中心に、世界約**70**か国、約**200**社の販売代理店網を整備。

- 本社
- 製造拠点
- 販売拠点
- 支店営業所・駐在員事務所



 新規参入が難しい環縫いミシン業界

精密機械である高性能・高機能な環縫いミシン業界への参入は難しい



機構が複雑で
部品点数が多い

精密構造

バリエーションが
豊富

機種が多い

ニット素材はデリ
ケート (扱いにくい)

職人技の世界

部品精度の管理や組立ノウハウ、教育制度の充実が必要

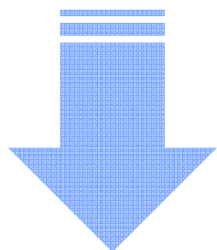


高い参入障壁



 環縫いの P E G A S U S としての知名度を確立



ミシン業界は
150年以上の歴史




2014年に創業
100周年を迎え
た環縫いミシンの
専業メーカー



1964年、欧州最大の
繊維総合メーカーによる
600時間耐久テストで、
当社のオーバーロックミシン
のみ

合格!

世界ブランド
PEGASUS
確立




世界中で
顧客ニーズに
合わせた

3,500

種類以上の
豊富な機種を

展開!



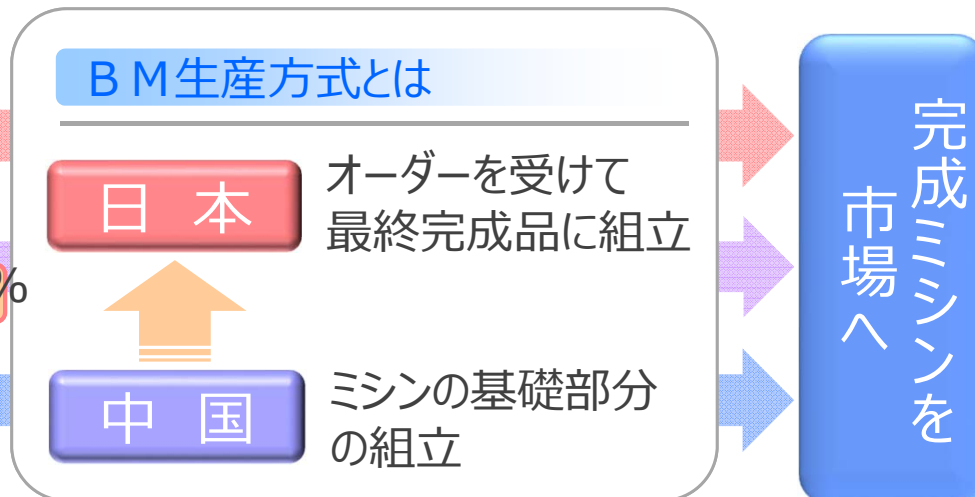
世界トップクラスの
開発技術力!



IV-12 事業内容 工業用ミシン(BM生産方式)

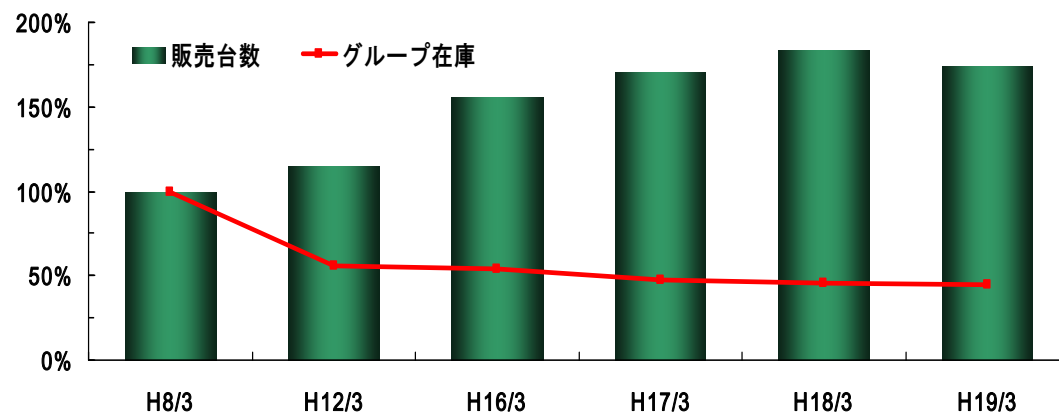
国際分業による効率的な生産体制

日本	一貫生産 1% BM完成 8~10%
中国	一貫生産 (内需用) 25~30% 委託生産 (内需以外) 25~30%
ベトナム	委託生産 30~35%



在庫削減効果 (当社販売台数と在庫の推移)

(平成8年3月の販売台数、グループ在庫をそれぞれ100%とする)



BM生産方式のメリット

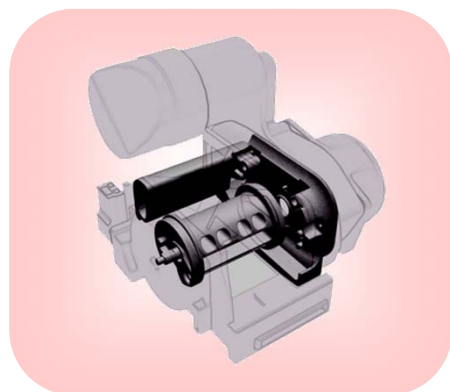
- 通常21日の生産工程を最短3日へ短縮
- 1台のベースマシンから平均25種類のサブクラスに展開

BM効果

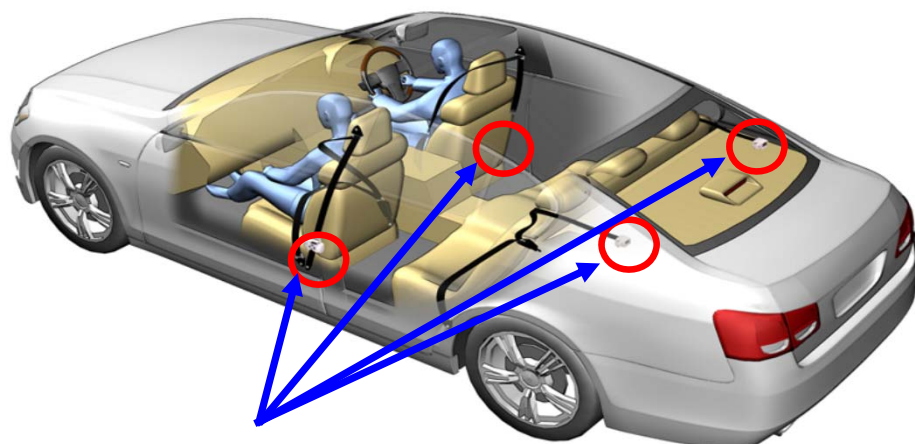
納期短縮・コストダウン・在庫削減

IV-13 事業内容 ダイカスト部品

- 各種ダイカストによる自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売
グループの業績拡大ならびに企業価値の向上を目指さず。



リトラクター部分の
ダイカスト製品
イメージ図



使用部位

phase 1

平成19年（2007年）1月
中国・天津市に合弁会社設立

平成20年（2008年）1月、営業開始

中国国内で日本製と
同等品質の部品を**製造!**

当社の強み!

IV-14 事業内容 ダイカスト部品

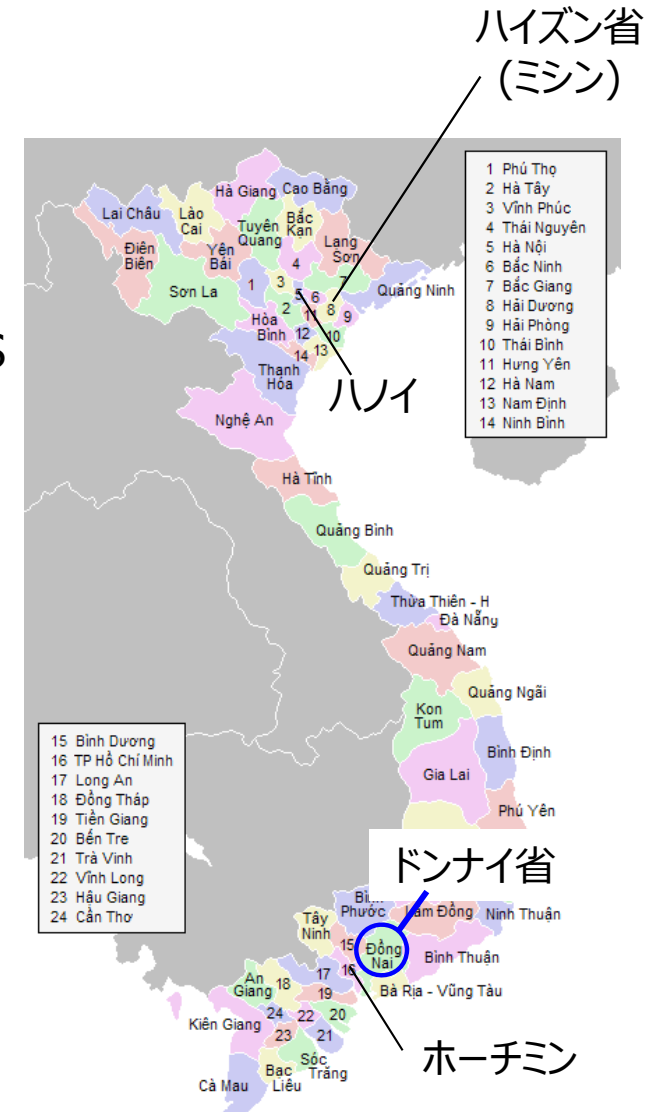
ダイカスト部品事業の拡大

ダイカスト部品に関わる需要増加への対応を目的とし、ベトナムに新たな生産拠点を設立。

- 設立時期 平成25年4月10日
- 商号 PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.
- 所在地 ベトナム社会主義共和国ドンナイ省
- 代表者 美馬 正道
- 決算期 12月31日
- 資本金 1,030万米ドル
- 当社出資額 840万米ドル
(出資比率 81.55%)

【参考】

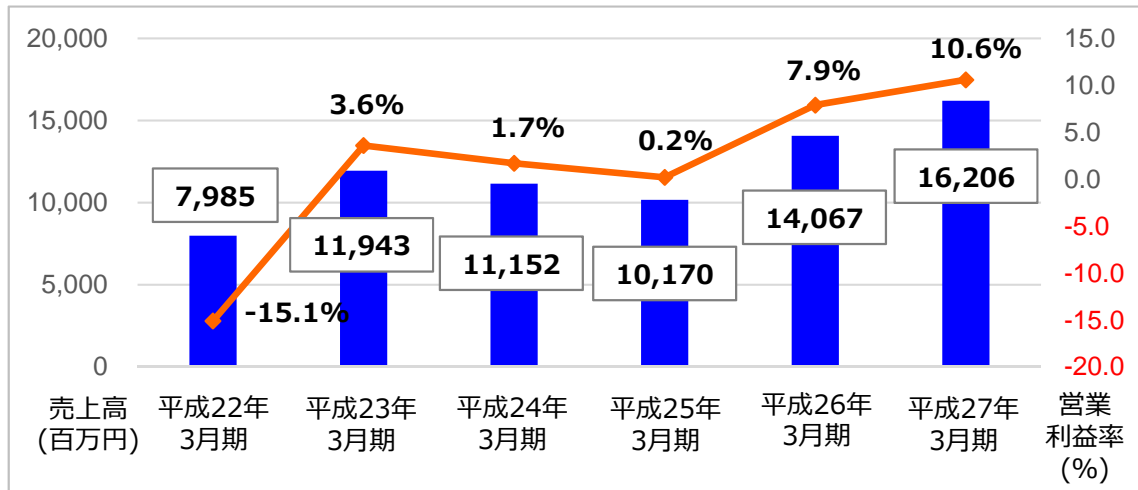
- 2014年世界の自動車生産台数（乗用車、商用車）
前年比2.6%増の約8,974万台（国際自動車工業連合会（OICA））



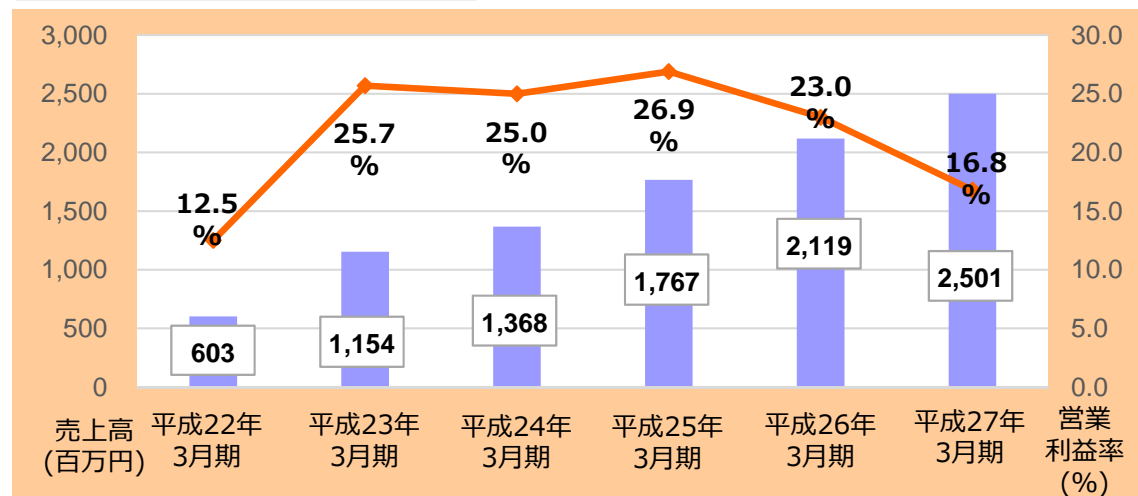
IV-15 事業内容 ダイカスト部品

ダイカスト事業を収益の第2の柱へ

連結業績推移



ダイカスト部品業績推移



Phase 2

収益の第2の柱として発展させ、グループの業績拡大ならびに企業価値の向上を目指す。

- 平成26年11月、天津PSAにてISO/TS16949 (BSI認証) 取得。欧米自動車メーカーへの新規参入に向けて優位に。
- 平成25年 (2013年) 4月、ベトナム・ドンナイ省 (ホーチミン近郊) に合弁会社設立。平成26年 (2014年) 2月に営業開始。
- 天津工場は第1フェーズで得たノウハウによる高付加価値化と生産能力の増強へ。



人と技術を通じて
世界の「衣料文化」の発展に貢献します。

Stitching Together New Tomorrows

経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- 環縫いテクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。

Stitching Together は、「縫製する」と「誠実な仕事をする」という2つの意味を踏まえたペガサスの姿勢。

New Tomorrows は、「新しい明日」。

社会に貢献する企業として、ペガサスと関係する人々とともに「新しい明日」を創りだしていきます。



ペガサスミシン製造株式会社

本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想等に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。